

町民と議員との 懇談会

町議会の「これから」を語りあう

議会の方向性に対する町民の声とは？

今年度の「町民と議員との懇談会」は、2月3日から6日間、全16会場で開催し、76名の町民の皆さんにご参加いただきました。

今年の懇談会では、議会改革調査特別委員会で審議してきた今後の福島町議会の方向性について「議員定数、議員歳費、議員のなり手不足、議会改革」に重点を置き、町民の皆さんの率直な意見を伺いました。

その他にも地域の将来や暮らしに関わる様々な声をいただきました。

いただいた意見の中から一部をご紹介します。

1. 議員定数・報酬

議員を減らすと町民の声が町に届きにくくなるのでは。

報酬を増やしてもよいのでは。他の町では増やしていると聞く。

9人から1名減という考えではないのか？

実際の議員数が9名で活動して何年もたっているのです。

議員はボランティアという考えはないのか？

昔は名誉職のような位置づけだった。

🔍 議会の考え

- ・定数を減らしすぎると議会運営に支障が出る。
 - ・歳費は活動量に基づいた算定方法を採用しており、令和5年度に一度改正している。
- ➡特別委員会で確認した方向性で進める。



2. 議員のなり手不足

簡単に立候補できない。

自分の暮らしや、今の仕事を捨てることになりかねない。

女性議員が必要

立候補には地域の後押しが必要では。

仕事との両立が難しい

働きながら議員活動ができる仕組みが必要では。

🔍 議会の考え

・これまでも声掛け等を行っているが、家族の反対や落選時の心理的負担などもあり、今までの反応を見ると中々難しい。

→特別委員会で確認した方向性で進める。

3. 議会改革

なぜ委員会が2つあるの？

委員会で

議論する案件を精査

した方がいい。

今までの体制、やり方を維持するのか、変えていくのか考えていくべきでは？

委員会を一つにして

委員長の負担が増えるなら手当を増やしては？

🔍 議会の考え

・現状でも委員外議員として、ほぼ全議員が両委員会に関わっている。
・当議会では委員会での審議を重視してきている。

→特別委員会で確認した方向性で進める。



4. その他

防災関係

冬の避難は
移動が難しい

熊対策

出没時の放送は
地区を知らせて

町内会関係

役員のなり手がいない

環境・インフラ関係

ゴミが多い原因は？

除排雪関係

排雪の基準が
わかりにくい

教育関係

高校の応募状況は？



議会関係以外にも、熊対策、教育、産業、除排雪、防災、環境・インフラ、町内会など、身近な話題が活発に寄せられ、特に「熊対策」と「防災」に関する声が多数ありました。

【報告書はこちら】



■まとめ

「町民と議員との懇談会」は、町民の声を直接聞き、議会のあり方を考える貴重な機会です。今年は「議員のなり手不足」と「議会改革」に焦点を当て、多くの意見をいただきました。議会では、いただいたご意見をもとに、より町民の皆さんにとって身近で開かれた議会を目指し、改革を進めてまいります。

あなたの声も聞かせてください

下記の二次元バーコードを読み込むと、議会宛ての意見・質問フォームに繋がります。

こちらの二次元バーコードはご利用いただけません

チェックポイント！

2/27議会改革調査特別委員会で議論しました。(21ページに掲載)

🔗 議会ガイド



🔗 用語集

